

各位

今年も坂本建運様の安全衛生推進大会に出席してまいりました。“安全”は私達にとっても身近な問題です。この機会を借りて“安全”の大切さについて考えたいと思い共有致します。

◆社長挨拶\_坂本 政彦

年に一度“安全”の大切さについて皆で考える日としたい。日常生活にも潜む危険。私達の職場では尚更の事だからです。

“安全”の基本は声掛けですが、声掛けも強い調子で行ってしまうと、反発してしまったり、委縮してしまったりと、効果が薄れてしまう場合があります。声を掛ける側も状況を良く考える必要があります。また、声掛けの切っ掛けは“挨拶”にあります。“挨拶”時の声掛けが、コミュニケーションを密にして事故を減らす事に繋がります。

私の持論ですが“安全”とは文字通り、家族が揃って成り立つもの。毎日無事に帰宅する事が大切です。

◆来賓挨拶\_大成建設 所長 三田 栄

山梨県の災害状況についての紹介（2017年1月~8月）

死亡、全産業で4名、建設関連1名（昨年4名）

休業4日以上、全産業で368名、建設関連55名（昨年62名）

昨年より減ってはおりますが、相変わらず危険な業界で有るという事はご理解戴けると思います。

幸い大成建設の施工物件ではゼロ災害であります。この安全祈願の大会を機に今一度気を引き締め今年の残り3ヶ月も無事故無災害を継続しましょう。ご安全に！

◆安全講話\_大成建設 安全環境推進室 室長 清田 太三

“安全”を考える時に一番大切な物は、現場での“ヒヤリハット事例”です。これに勝るものは有りません。先輩及び同僚の体験等、身近な事例を共有し共に考える事が一番身になり、大切なのです。この業界に於いて昨年は294人の方がお亡くなりになりました。私達のおかれている環境（職場）は非常に危険なんだと言う事を認識しておく必要が有ります。「明日は我が身」等と言われますが、危険な事をしているんだという認識をしっかり持って、注意喚起と声掛けを徹底する事が非常に大切です。

[事例紹介]

- ・ラフタークレーンの転倒事故（アウトリガの沈み）
- ・クレーン下、吊り荷の落下事故（玉掛け不良とバランス崩れ）
  - 適正な道具が無い場合には作業を止める勇気も必要
  - 作業方法と作業員の配置には細心の注意を払わなければならない
  - “だろう…”判断の撲滅（復唱確認の徹底）
  - “慣れ”に潜む危険への意識改善。複数人による確認と仕事を止める勇気
  - 仕事のアレンジ禁止。基本の徹底と手順の遵守

人は翌日になると聞いた事の80%を忘れてしまうと言われてしています。

今日の話の中から“一つ”で結構ですから、心にとめた事を何か一つ明日実行して下さい。

この意識づけと、行動を毎日積み重ねる事が“品質”と“安全”を担保する事に繋がります。

◆経験談\_坂本建運 石見 哲夫

過去の体験談について共有（25tの17mブームをトレーラーにて搬送。凍結した下り坂道での事故）

→法令及び基本の遵守

→事前に想定される事についてはクリア（対策）して業務に望む事の必要性（勢いは危険）

気持ち（矜持）を強く持ち、まずは自分を守る事を考えよう。“加害者”“被害者”を無くす為には

“断る”勇気も必要です。

## ◆所感

事例紹介がアニメ（再現動画）化されていて、素人の私にも非常に分かりやすく感心しました。印象として、玉掛け不良（慣れ）に起因する事故が多いのかなと感じました。私達もクレーンを使用した作業は多々あります。物の大きさこそ随分違いはありますが、潜む危険には変わりはありません。“手順の順守”“正しい道具の選択”“声掛け”“復唱確認”“仕事を止める勇気”“意識する事”と“基本をないがしろにしない事”を心に刻み、日々業務に臨みましょう。『安全第一』です！これに勝るものは有りません。ご安全に！！